

巴川探検隊実施結果報告

1. 実施日時：平成27年8月20日(木) 午前9時15分～午後1時
2. 実施場所：銚田ホットパーク
3. 参加人数：102人
4. 内 容

巴川探検隊を実施しました。

巴川は、笠間市の愛宕山を源流に、小美玉市をとって銚田市で北浦に注ぐ川です。巴川流域の笠間市、小美玉市、茨城町、銚田市にお住まいの方、102名の参加がありました。

9時15分から開会式。

時々、ぱらぱらと雨が降ってきて、お天気が心配されます。



9時30分 2班に分けて、魚の観察と巴川周辺の自然観察に出発。



講師の福井先生の後について、魚の観察に向かいます。向かうのは、ホットパーク周辺の水路。手には、全員タモアミを持ちました。

生憎、雨が降ってきてしまいました。





傘をさしながらの魚とりです。

アメリカザリガニは、食用カエルの餌として
輸入されたんだよ。



自然観察の班も出発。
講師は、矢野先生です。



「この植物の茎に触ってみよう。
どんな形してる？」

「さんかく～」

「茎の形は丸ばかりじゃないんだ。
カヤツリグサの仲間は、三角形が多い、
四角もあるネ。

シソの仲間は四角形をしている。でも、
残念ながら、五角形は見たこと無い。」

見るだけでなく、触ってみるのも
おもしろいネ。



土手を降りて巴川の岸に行きます。
岸に、コウホネの花が咲いているらしい。

雨で滑り易いから、足元に気を付けて！



10時10分、本降りになってきました。
植物の観察は無理と判断。

橋の上から巴川を観察して、一旦戻る
ことにしました。

テントの前で、写真を見せながら
矢野先生のお話。

源流では、チョロチョロだった巴川
の水、大きな川になっていたけど、
その水はどこからきたと思う？

カエルはどこから水分をとると思う？
お腹。水溜りでじっとしているの
見たことないかな。
あれは水を飲んでいるんだ。



10時30分、雨が止みそうにありません。

魚の観察と自然観察の班を交代する予定でしたが、仕方なくそれぞれの報告会をすることに・・・場所は、旧銚田線の車両です。

※車両は、2009年に銚田駅から運ばれてきました。



改札を通過して、車両に乗り込みます。

車両は昭和11年製だそうです。8年前の平成19年3月まで走っていました。



「この電車に乗ったこと、ある人」の質問に、数人の子も達が手を上げました。

まとめの話

福井先生 今日獲れた魚は、ドジョウ、メダカ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、カマツカ、アメリカザリガニ、ウシガエルのオタマジャクシ等々・・・沢山観察できました。メダカが沢山いたけど、そういう自然をなくさないよう大事にしたいね。

矢野先生 ここでは、ガマ、コガマ、ヒメガマが一度に見られる。あのソーセージみたいな所が全部種なんだ。アレチウリの茎はトゲトゲしてる。コウホネの花も咲いていたね。夏のはじめから秋にかけて咲くんだ。「生物多様性」というんだけど、いろいろな生き物が沢山いるのが良い環境なんだよ。

11時20分、予定を繰り上げて昼食にしました。

午後からは、水質検査です。それぞれの市町から持ち寄った、巴川上流、中流、下流、涸沼の水を調べます。



調べる項目は、水の色、におい、透視度、pH、CODです。

透視度は何センチメートルかな？

パックテストを使ってpHとCODを調べました。

CODとは、水の汚れの程度を表わす代表的なものさしで、数値が大きいほど汚れが大きいことを表します。



班ごとに結果を発表して、表にまとめました。

項目	巴川上流	巴川中流	巴川下流	用石
水の色	うす黄色	水色	黄色	黄色
水におい	無	無	少し生臭い	無
透視度	60cm	51cm	1m以上	130cm
水温	27.5	27.5	28.5	29.5
PH	8.5	8.5	8.5	8.5
COD mg/L	260 5	260 4	260 3	270 4

今回の検査では、巴川下流の水の透視度が100cm以上、CODが3で、一番良い数値ながらpHは8.5でややアルカリ性を示し、においも少し生臭いという結果に。

調べる水を採水したときの状況や、パックテストの時の手指の汚れなど様々なことが結果に影響してしまうため、今回の結果だけで水質を判断することはできません。

継続して調べていくことが大切です。

13時、予定を早めて、閉会しましたが、今頃になって雨が止んできました。残念！
外での事業は、お天気に左右されてしまいます。それはそれで記憶に残ることでしょう。
次回は好天に恵まれますように。